

平成27年8月7日（金）開催  
東習志野コミュニティセンター

## 公共施設再生について、みんなで話し合おう！～公共施設再生計画説明会～

### Aグループ

#### 観点1：保有総量の圧縮（施設再編・再配置）について

- 小学校14→10位に
- 図書館は大きなものを1個
- 公民館7個→3個
- 総量圧縮は賛成
- 公民館などは各施設のコストパフォーマンスを明確にし、市民の合意形成に役立てる。
- 新しい物を導入して魅力あるもの（行ってみたい。）を造るべき。
- 実籾商店街に建設中の有料老人ホームの1・2階に高齢者の憩いの場所を造る。
- 圧縮が仕方ない事とし配置の事をしっかり考えてほしい。（偏らぬように）
- 無料バスを増量して利便性を考慮する。
- 施設の多機能化・多くの使用方法・欲張らない。

#### 観点2：老朽化対策の具体案について

- コンクリートの寿命
- 劣化原因の除去
- 良質のコンクリートの強度は、100年間維持する。
- 長寿命化、ポイントは点検・保守
- 建替え、品質の確保・新技術の活用
- 統廃合を積極的にして高齢者の集える場を造る。
- 小～大学生が集える場を造る。
- 住民がしっかり見ていて手抜きなど行われぬよう
- 建築に携わった人（今・昔）に専門委員会を作ってもらおう。
- 老朽化の建物の跡地を財源にする。

#### 観点3：財源確保策について

- 市議会議員減数 人口に比して多過ぎないか。
- 空地・空き家を財源に

- ならっしいくんを買って貰い財源にしては？
- 工事の発注 設計図書の精査を確実に行う。
- ライフサイクルコストを考慮した設計
- 日大のグラウンドを借りて野球・サッカーなどの試合を行い入場料を収益とする。
- 市議会 定数歳費の削減
- 議員にまかせない市民組織
- 学校の空き教室なども使い全体の縮小にならないようにしたい。
- 改修・建替えを少なくする。
- 100年位保たれるハコを造る。
- 業務委託 アウトソーシングの推進
- 人口減少を考えたインフラを整備する
- 市職員のコスト意識
- コスト意識の向上

## **Bグループ**

### 観点1：保有総量の圧縮（施設再編・、再配置）について

- 新栄幼稚園の跡地の活用方法、移設による通園手段は
- 高齢化で生涯学習は地域の人達が学ぶ場で慣れ親しんだ場所から東習志野小になるのは不便
- 人口減少で学校の空き教室が出るのは必然で地域還元としてサークルに利用してもらうのは、いいことだと思う。
- 地域と学校側が問題なく上手に使用できる様に一案を講じて欲しい。
- 市に大きい図書館がほしい。

### 観点2：老朽化対策の具体案について

- 建物の老朽化と歴史の深さで、取り壊すことに反対の声が上がるのは無理もないこと。同じ場所に建替えれば一番いいと思うが、そうはいかないのがよくわった。習志野市役所に多目的室・ギャラリー・劇場付け加えたら嬉しい。
- 小中学校の校舎では、耐震化（100%）工事を進めていたはずだが？
- 老朽化になる公共施設の建物は子供が安全に学べる校舎であるから、地震に強い建物にする。
- H17年から（10年間）計画を進めていながらなぜ今なのか。

### 観点3：財源確保策について

- 議員を減らす
- 医療保険を使わないように公民館に行って元気になる。だから、公民館は必要
- 保険証を使用しないように、体を丈夫に健康体操したり、ウォーキングしたりする。
- 保有土地とその資産価値（従来市は、埋め立て等により土地面積を増加させる方針をとっていたが…）
- 公設民営の考え方は（指定管理と）